

佐倉フィルハーモニー管弦楽団

室内楽 サマー コンサート



Program

フルーツ四重奏

鶴蘭明人／組曲「あめ」より
「いそぎあめ」「かざりあめ」「わたりあめ」

弦楽合奏

グリーグ／ホルベルク組曲

管弦楽合奏

モーツァルト／交響曲第40番ト短調K.550

佐倉フィル・名曲セレクション

ムソルグスキー＝ラヴェル／「展覧会の絵」よりプロムナード

バッハ／主よ、人の望みの喜びよ

ラフマニノフ／ヴォカリーズ

ビゼー／「カルメン組曲」より間奏曲

マスカーニ／「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

ブラームス／ハンガリー舞曲第1番

ハンガリー舞曲第5番

ハンガリー舞曲第6番



【フルート四重奏】

鶴岡 明人：組曲「あめ」より いそぎあめ かざりあめ わたりあめ

室内楽サマーコンサートのトップバッターはフルートカルテットチームです。普段はオーケストラの大勢の中で演奏しているため、4人だけで舞台上に立つのはドキドキとても緊張します。

6月の梅雨の季節に合わせて組曲「あめ」を選びました。

もともと季節の順に 1.しずくあめ 2.いそぎあめ 3.かすみあめ 4.かざりあめ 5.わたりあめの5曲で構成されていますが、今回はその中から3曲演奏します。

いそぎあめ～8月や9月の夏の間に降る激しい“あめ”

かざりあめ～“あめ”が唯一“ゆき”という形を作る12月や1月の風景

わたりあめ～春の暖かさを運んで来てくれるしっとりとした3月の“あめ”

日本の四季ごとに違う雨の風景を思い描いて聴いていただけたらと思います。●山田 綾乃(Fl.)

【弦楽合奏】

グリーグ：組曲「ホルベアの時代から」作品40（通称：ホルベルク組曲）

ホルベアはJ.S.バッハと同じ時代に生きたノルウェーの文学者で、この曲は、ホルベアの生誕200年を記念し、ピアノ曲として作曲され、翌年には弦楽合奏版に編曲されました。

曲は「急・緩・急・緩・急」の5つの部分から構成され、形式はバロック的ですが、旋律や和音はずっとロマン的で、ピアノ版は、10巻ある抒情小曲集から抜け出たような雰囲気です。一方、弦楽合奏版では、楽器の特性が最大限に生かされ、非常に多彩で厚みがあり、そのためか、今日では、弦楽合奏版のほうがはるかに有名です。

ぜひ、「急」の部分では、明るい太陽の下、カラフルな民族衣装に身をまとった人々が、草原で民族舞曲に生き生きと跳ね回る様子などを思い描き、「緩」の部分では、冬のフィヨルドの真っ白な風景と、北欧のひんやりした空気を感じつつ、家の中、暖炉の火に手をかざす人々を思い描きつつ、聴いてみてください。●岩瀬 善彦(VI.)

【管弦楽合奏】

モーツァルト：交響曲第40番ト短調K.550

交響曲第40番ト短調K.550は、モーツァルトの全楽曲の中でも、最も有名な曲の一つでしょう。モーツァルトの交響曲のうち短調のものはこの作品を含めてわずか2曲しかなく、その両方がト短調であるため、交響曲第40番を「大ト短調」、もう一方の交響曲第25番を「小ト短調」と呼ぶこともあります。

交響曲第40番はモーツァルト32才の1788年7月にウィーンで完成しました。同年6月に作曲された交響曲第39番、8月に作曲された交響曲第41番とともに「3大交響曲」とも呼ばれています。

「ジュピター」を作曲した頃のモーツァルトは、1786年のオペラ「フィガロの結婚」、1788年のオペラ「ドン・ジョバンニ」の成功により作曲家としての活動がピークにあった時期でしたが、経済的には大変苦しい状況にありました。また、1787年5月に父親レオポルトの死去、翌年1788年6月に長女テレジアが夭逝するという身内の不幸も続いていました。モーツァルトはこの困窮から抜け出すために予約演奏会を計画し、わずか2ヶ月間という驚くべき短期間で性格の違う3つの交響曲を一気に書き上げたことは、モーツァルトの天才ぶりをよく表しているといえます。

この曲の初演に関する記録は残されていませんが、モーツァルトの生前には演奏されていたと推測されています。それは初稿のほかに2本のクラリネットを追加した改訂版が残されており、モーツァルトが実際に演奏する目的なしに改訂するとは考えにくいという説からです。改訂版ではオーボエの楽想をクラリネットに分担させ、表現力が多彩になっています。現在ではどちらの版も演奏の機会があります。●コーツ 安奈(Ob.)

指揮
村上 満志



島根大学教育学部を卒業後、1971年東京芸術大学器楽科入学。同学4年在学中に東京都交響楽団に入団。卒業後は、ドイツ政府給費留学生として渡独。元ベルリンフィル首席コントラバス奏者のライナー・ツェバリッツ教授の下で研鑽を積む。帰国後は、東京都交響楽団首席コントラバス奏者としてのオーケストラ活動の他にソロ・リサイタルや室内楽、またオーケストラのソリストとして活躍。2001年から仙台フィルハーモニー管弦楽団へ移籍。これまでに、東京都交響楽団、広島交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協奏曲を共演。2004年には佐倉フィル第40回定期演奏会のソリストとしてクーセヴィツキーの協奏曲を共演、好評を博す。コントラバスの演奏活動の他にNHK TVのドキュメント番組やドラマにおける音楽を指揮者として数多く録音し、特に2000年を迎えるライブ番組においてはソプラノの佐藤しのぶ女史の伴奏オーケストラを指揮した。また佐倉フィルハーモニー管弦楽団はもとより立教大学管弦楽団、長岡室内合奏団等のアマチュア演奏団体の指導にあたり、各団体の演奏水準の向上に寄与した。佐倉市在住

Sakura Philharmonic Orchestra

f パートリーダー

Concert Mistress : 三宅 音楽

1st Violin

相川 みどり
小原 綾
清水 俊子
f 庄司 睦美
高橋 雅英

2nd Violin

天本 幸江
安斉 利男
岩淵 善彦
佐藤 邦子
f 二宮 伸雄
畑 保子
宮内 千絵

Viola

犬塚 佳子
f 大元 誠治
高橋 奨
谷口 陽亮
松岡 裕樹

ViolonCello

和泉 景子
菅野 修平
f 清水 裕幸
谷口 桂子
通山 光正
松浦 晴彦

ContraBass

f 西中 久美子
西中 啓二
三上 晶子

Flute

阿部 恵美
土方 理絵
三村 さゆり
柳田 晴生
f 山田 綾乃

Oboe

コーツ 安奈
f 松本 賢一郎

Clarinet

f 會田 智恵子
木村 将太

Fagotto

f 大平 麻海子
山形 真生

Horn

f 川田 陽子
小林 昌樹
嶋田 勝之
富田 哲雄

Trumpet

f 村松 真悟
三成 陽子
八木 俊也

Trombone

f 阿部 博
小野 貴恒
村上 茂夫

Percussion

小野寺 貴志
新井田 久美子

Harp

大西 香奈

団員募集

【募集楽器】弦楽器:ヴィオラ、チェロ、コントラバス<初級者大歓迎>、ヴァイオリン(若干名)

管楽器:オーボエ(1名)、ファゴット(2名)、トランペット(2名)

打楽器:若干名(急募!)

【練習日】毎週日曜日 18:00~21:00

【練習会場】佐倉市民音楽ホール練習室 他

【問い合わせ】sakura_ph_or@yahoo.co.jp

第68回定期演奏会

【開催日】2018年12月16日(日) 14時開演

【場所】佐倉市民音楽ホール

【曲目】ムソルグスキー「禿山の一夜」、ラフマニノフ「バガニーニの主題による狂詩曲」、
チャイコフスキー「交響曲第6番」

【指揮】伊藤 悠貴

【ピアノ】山田 磨依



大西香奈

ハープ教室



楽譜が読めなくても、大丈夫!
お子様も大人の方も気軽に
ハープを始めてみませんか?

佐倉市宮ノ台と京成佐倉駅前にて開講

Tel : 070-4381-9146

Mail : kana.onishi@live.jp

Hp : <http://kanaonishi.wixsite.com/harp>

全国の処方箋承ります。

(株) 幸田薬局

株式会社 野口屋

本 部 佐倉市臼井田 1027
TEL 043-487-2516
FAX 043-489-3746

ゆったり駐車。らくらくショッピング!! **P** 800台

快適・安心・安全をお届けします。



レイクピアウスイ

京成臼井駅前 〒285-0837 佐倉市王子台1-23 TEL 043-461-1111

さとい音楽教室

体験レッスン
受付中!

エレクトーン
ピアノ
鍵盤ハーモニカ



090-3819-2135 (奈良貞)
<https://satou-music.jimdo.com>

有限会社 佐倉読売サービスセンター

代表 石渡 清一

●佐倉市鍋木町 1205-2 TEL 043-484-2148
FAX 043-484-2149

取扱い新聞

読売新聞・報知新聞・日本証券新聞
千葉日報・農業新聞・日刊投資新聞他



sakura
philharmonic
orchestra

●主催/佐倉フィルハーモニー管弦楽団

http://www.geocities.jp/sakura_ph_or/

●共催/佐倉市教育委員会(佐倉市民音楽ホール)

●後援/佐倉フィル友の会(新規会員募集中)、千葉交響楽団協会